

スポークスマン

From 中華人民共和國駐大阪總領事館



VOL.20~21 2022年12月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka



新時代中国の十年

2021年7月1日午前、中国共産党創立100周年祝賀大会が北京の天安門広場で盛大に行われた。写真は重要演説を行う習近平中共中央総書記・国家主席・中央軍事委員会主席。

2012年11月、中国共産党は第18回全国代表大会を開催し、習近平同志を核心とする新たな中共中央指導グループが歴史のバトンを受け継ぎ、中国の特色ある社会主義は新たな時代へと入った。これは前人の事業を受け継ぎ、将来の発展に道を開く偉大な時代であり、中華民族の偉大な復興を実現するという中国の夢へ向け、百年の大党が億万の人民を団結させて続けて奮闘していくのを導き、小康社会の全面的な完成という一つの百年奮闘目標を実現させ、社会主義現代化国家の全面的建設という新たな道のりをスタートさせるものだ。立ち上がり、豊かになり、強くなるという偉大な飛躍を遂げ、東方の大国は巍然とそびえ立ち、民族の復興は不可逆的な事実になった。これは、正しい道を守りながら革新を続ける偉大な時代であり、中国の発展の新たな歴史的段階に立ち、中華民族の偉大な復興の戦略的全局と世界の百年未曾有の大変局を統一的に考慮

し、習近平同志を主要な代表とする中国共産党人が、マルクス主義の基本原則と中国の具体的な状況を結合させ、中国の優れた伝統文化と結合させることを堅持し、理論の革新と実践の模索を行い、習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想を打ち立て、マルクス主義の中国化の新たな飛躍を実現させるものだ。中国共産党が中国人民を導いてきたこの10年は、生気みなぎる繁栄した国家をつくりあげ、活気あふれる素晴らしい生活をつくりあげ、奮い立って前進する民族気質を発揚し、「中国の統治」の制度的優位性を明らかにし、世界のために人類運命共同体という素晴らしい願望を計画した。今回の特別号では、新時代の中国の非凡な10年におけるすばらしい物語を紹介し、中国人民が倦まずたゆまず努力して夢を追いかける足跡を記録し、中国人民が世界人民とともに助け合い、手を携えて共に進んでいく素晴らしき時代を反映したいと思う。



2013年11月3日、習近平総書記は湖南省湘西トゥチャ族ミャオ族自治州花垣県排碧郷十八洞村で幹部や村民らと語り、初めて「ターゲットをしぼった貧困支援」という概念を示した。中国の各方面の力を全面的に動員し、怒濤の貧困脱却戦を展開したのである。

中国共産党は、発展が執政・国家振興の第一の任務であり、中国のあらゆる問題を解決するマスターキーだと考えている。「五位一体」全体構造を統一的推進し、「四つの全面」戦略構造を協調的推進することで、新時代の中国は人が刮目する新たな奇跡を起こし続け、党と国家の事業が歴史的な成果を得て、歴史的な変革を起こした。この10年で、中国共産党は中国人民を率いて、人類史上空前の規模で、最大強度の、恩恵を受ける人口が最多の貧困脱却攻略戦に打ち勝った。1億近い農村の貧困人口がすべて貧困から脱却し、国連の持続可能な開発のための2030アジェンダの貧困撲滅目標を10年前倒しで実現した。千年にわたる貧困問題を取り除き、小康（ややゆとりのある生活）という夢を実現し、新時代の中国は人民全体の共同富裕の実現という新たな模索をスタートさせた。この10年で、中国共産党は中国人民を導き、質の高い発

展という現代化の新たな道を歩み始めた。この新たな道は、人民中心という発展思想を堅持し、イノベーション・協調・グリーン・開放・発展の共有を堅持して、物質文明・政治文明・精神文明・社会文明・エコ文明が協調的に発展する現代化の新しい未来を切り開くものだ。この10年で、中国共産党は中国人民を率いてリスクの試練に打ち勝ち、国内総生産（GDP）は100兆元を突破し、一人あたりのGDPは1.2万ドルを超え、長年連続で世界経済成長への貢献度が30%を超えるという、目を見張るような成績表を提出している。中国人の衣食を安定させたことから、質のよい中国製品を提供したことまで、世界最大規模のインターネットインフラをつくりあげたことから、国際社会に約束した2020年二酸化炭素排出削減目標を前倒しで実現したことまで、中国が自国をうまく運営していくことは、世界にとっての貢献でもある。



1
2
3
4

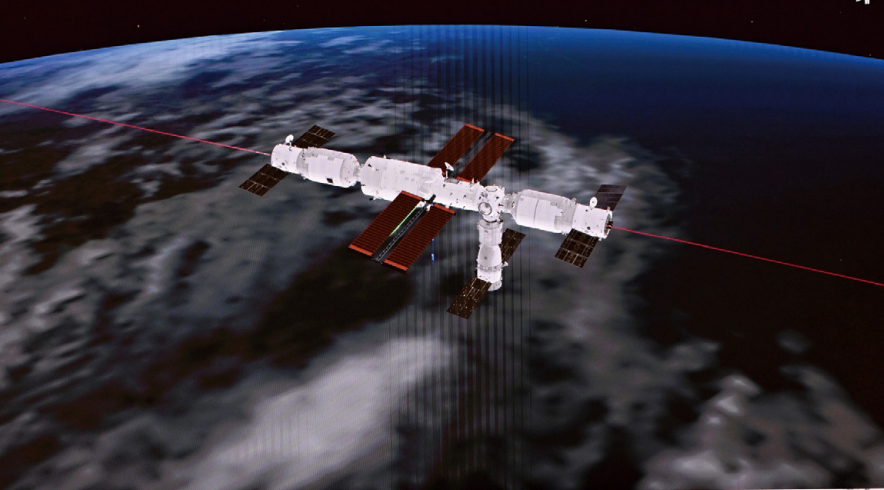
① 2012年から2021年末までに、中国の鉄道・道路は約110万キロ増加し、それは赤道を27周半する距離に相当し、20万以上の人口をもつ都市の高速鉄道と高速道路のカバー率はどちらも95%を超えた。写真は貴州省黔東南ミャオ族トン族自治州丹寨県を通る高速道路。この県は中国の貧困支援開発の重点県とされ、3本の交通の大動脈がここを通過している。

② 四川省と雲南省の省境に位置する白鶴灘水力発電所は、現時点で建設規模が世界最大で、技術的難度が最も高い水力発電プロジェクトである。初めてのユニットが2021年6月28日に稼働し、発電を開始した。すべての発電ユニットが稼働した後、平均発電量は624.43億キロワット時に達する予定で、毎年節約できる標準石炭消費量は約1968万トン、削減される二酸化炭素排出量は約5200万トンとなっている。

③ 2021年6月25日、拉林鉄道が開通し、チベット自治区で初めての電化鉄道が完成し、これにより列車「復興号」が31の省区市を全面的にカバーすることとなった。拉林鉄道はチベット自治区内のラサとニンティを結ぶ電化された鉄道であり、全長は435キロ、設計時速は160キロ。写真は拉林鉄道を走る列車「復興号」。

④ 山西省朔州市右玉県の人々が植林・造林を続けた結果、右玉の森林緑化率は0.3%未満から現在の57%にまで上がり、「不毛の地」が「辺境のオアシス」となる奇跡をつくりあげた。上の写真は整備前の山西省右玉県で至る所にみられた荒地（資料写真）。下の写真は2021年7月13日に撮影された山西省右玉県右衛鎮の景観。

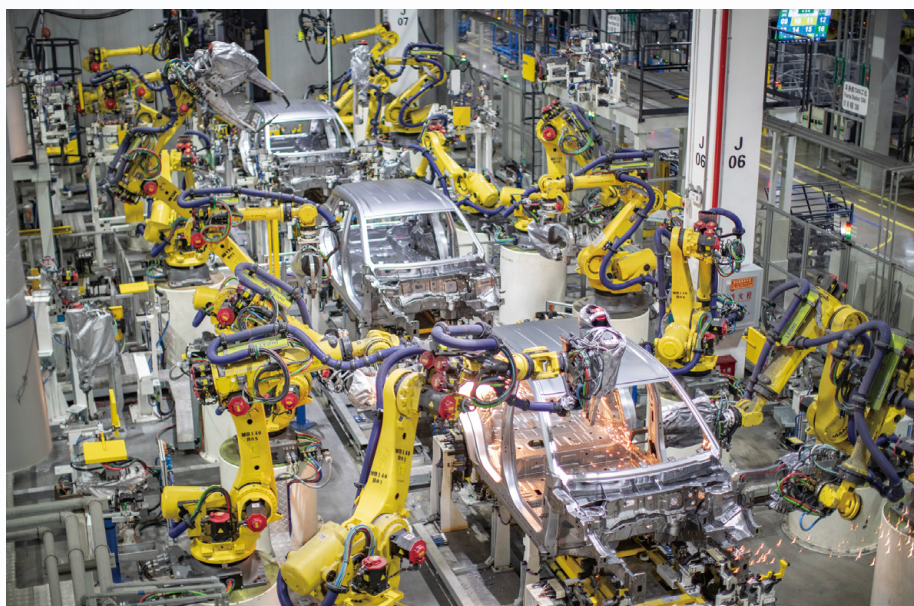




2020年6月23日、北斗三号の最後の1基のグローバルネットワーク衛星が西昌衛星発射センターで成功裏に発射し、「北斗」衛星測位システムの配置が予定より前倒しで完成した。「北斗」衛星測位システムは中国において現時点で規模が最大で、カバー範囲が最も広く、サービス機能が最も高く、人々の生活と最も深い関係をもつ重要な科学技術プロジェクトである。



2022年6月5日、中国は神舟14号有人宇宙船の発射に成功し、宇宙飛行士を無事宇宙へ送り込んだ。これは中国の宇宙飛行士の9回目の宇宙遠征であり、中国の宇宙ステーション建造段階における初めての有人飛行でもある。この任務において、三人の宇宙飛行士が天和コアモジュールに入り、6カ月間滞在する。左の二連の写真で、上は神舟14号有人宇宙船と宇宙ステーションが自動高速ランデブー・ドッキングを成功させた後のようす、下は天和コアモジュールに乗った宇宙飛行士が手を振ってあいさつしているところ。



中国の製造業はたえずモデルチェンジ・アップグレードを繰り返し、今まさにスマート化へと加速発展している。写真は重慶市の新エネルギー自動車工場にある稼働中のスマート化溶接ロボット。



2020年3月、雲南シーサンバナナ国家級自然保護区にいた17頭のアジアゾウが、北へと集団で移動を開始した。十数カ月わたる移動の中で、ゾウの群れが向かう所の人々はひそかに道を譲った。2021年8月8日、ゾウの群れは無事に生息地へと戻った。写真は移動中にぐっすりとする野生ゾウの群れ。



2019年4月15日、習近平総書記は重慶市石柱トゥチャ族自治県中益郷小学校の教師・児童と親しく言葉を交わし、貧困児童の食費補助と食品の安全・衛生状況を視察した。

中国共産党は誠心誠意人民のために奉仕する政党である。中国共産党の奮闘目標は壮大であるだけでなく素朴でもあり、とどのつまりは人民全体により生活を送ってもらうことにある。この10年、中国人のお財布はさらに膨らみ、保障ネットワークはより密になった。住民の一人あたりの可処分所得は8割近く増え、経済成長よりも高速の伸びを示している。エンゲル係数は生活水準が高いレベルへと入り、100世帯あたりの自動車保有台数は37台を超え、4億人を超える中間所得者層を生み出した。また、世界最大規模の教育システム、社会保障システム、医療衛生システムが作りあげられた。この10年で、中国人の生活環境はより美しくなり、精神的にもより豊かになった。

白い雲が青い空に浮かび、きれいな川と緑の岸辺があり、鳥が鳴き、花が香る環境が身近に見られるようになった。図書館、文化会館、博物館の人气が高まり、伝統文化が活性化し、無形文化遺産も注目を浴びた。「Z世代」が中国文化を愛し、ますます多くの中国人がより大きな世界を見るために国を出ている。繁華な都市から美しい農村まで、雪の降り積もる高原から江南の水郷まで、一人一人の温かで朗らかな笑顔が「幸福な中国」の新たな姿をつくりあげている。960万平方キロメートルの中国の大地の上で、育児・教育・所得・医療・養老・住宅・弱者救済が保障され、人民の満足感・幸福感・安心感はより高まり、より保障が強化され、より持続可能なものとなっている。





1
2 3 4

① 2019年2月1日、旧暦正月の前、習近平総書記が北京市前門東区を訪れて人々を見舞い、みんなと一緒に窓に切り紙を貼った。

② 今、伝統文化が中国の若者の新しい流行となっている。写真は湖北省襄陽市黄家湾景区で花見を楽しむ漢服姿の若者たち。

③ 2018年末、中国の農村義務教育段階の児童の栄養改善計画があらゆる国家級貧困認定県をカバーし、子どもたちの食の安全、体の健康を守った。写真は栄養給食を食べている安徽省六安市舒城县晓天中心小学の児童。

④ 高齢者の学習や娯楽活動を奨励するため、中国では高齢者の教育リソース供給を拡大し続け、高齢者教育を終身教育システムに繰り入れようとしている。写真は甘肅省蘭州市高齢者大学モデル班の公演に参加したモデルたち。





中国のような長い歴史、広い国土、巨大な人口と経済規模をもつ多民族国家を統治するのは、非常に困難な任務である。この10年で、中国共産党は中国人民を導いて、中国の特色ある社会主義の道を揺らぐことなく歩み、勇敢に統治革新を行い、制度的優勢を国家統治機能へうまく転化させようとしている。中国共産党は「鉄を打つには自分自身が固い必要がある」と考え、「権力を制度の檻の中に閉じ込め

る」ことを堅持し、「反腐敗は永遠に途上にある」と強調し、全面的に党を厳しく治めることで絶えず自己革命を推進し、「治乱興亡のサイクル」から抜け出す新たな答案を探し当て、中国人民の心からの擁護と広範な支持を得ている。中国共産党はより大きな勇気と、より多くの措置で国家ガバナンスシステムとガバナンス能力の現代化を推進し、中国共産党の全局掌握と各方面を協調する核心的地位を固め、党



中国は基層の政権を固め、基層の民主制度を整備し、業務公開制度を整備し、人民の知る権利、参政権、表現権、監督権の保障を堅持している。福建省福清市江鏡鎮南宵村の村民代表が「農民マンション」分配大会において、分配プランに対する投票採決を行っている。

人民代表大会制度は中国の特色ある社会主義制度の重要な一部であり、党の指導、人民主体、法に基づく国家統治が有機的に統一された根本的な政治制度配置であり、中国の国家ガバナンスシステムとガバナンス能力を支える根本的な政治制度である。2022年3月5日、中国第13期全国人民代表大会第5回会議が北京人民大会堂で開幕した。写真は会議のようす。

の指導、人民主体、法に基づく国家統治の有機的統一を堅持し、政府・市場・社会の良好なインタラクティブを促進している。全過程の人民民主という民主の新たな道は行けば行くほど広くなり、改革の全面的深化は絶えず体制メカニズムの障害と利益の固定化という垣根を崩し、全面的な法に基づく統治は、中国共産党の法を用いた国家統治・ガバナンス能力を力強く向上させる。国家の安全保障が全面的に強

化され、「一国二制度」は安定的・長期的に発展し、中華民族の共同体意識は絶えず固められ、多元的なものが一体となった中華文明は新たな生気を輝かせている。この10年、「中国の統治」の制度図鑑は日々完全なものとなり、中国の特色ある社会主義制度はより成熟し、より定着している。中国式現代化の道は発展途上国が現代化へ向かう道筋を切り開き、人類文明の新たな形態を創造している。



中国は統一された多民族国家であり、民族地域の自治制度の实行は、国家統一や民族団結、社会の安定に利するだけでなく、各少数民族の発展・進歩と国家の長期的・安定的な統治にも利するものである。現時点で中国には民族自治が行われている地方が155あり、内訳は自治区が5、自治州が30、自治県あるいは自治旗が120となっている。写真は2019年10月1日に中華人民共和国成立70周年祝賀大会で組まれた「民族団結」の方陣。

中国共産党は新時代のチベット統治計画を打ち出した。チベット自治区の経済発展の勢いは強く、中華民族共同体意識がさらに固められ、生態環境も良好に保たれ、西南の辺境は平和で安定している。写真は2018年6月14日、チベットのチベット医学院で卒業を祝う修生。





2019年2月1日、旧暦の正月を前に、習近平総書記は北京市の基層幹部や大衆を見舞った。写真は北京市前門石頭胡同の宅配便サービス所を訪れ、そこで仕事をする宅配便配達員の仕事や生活状況を視察する習近平総書記。

世界一の執政党として、中国共産党は9600万人余りの党員を擁し、中国社会の各階層・各分野に分布しており、人民大衆と「血肉の関係」「魚と水との関係」をつくりあげている。この「先鋒隊」が中国人民にやる気を起こさせ、共に今日の成果と幸福をつくり上げてきた。貧困脱却攻略戦という「戦場」では、累計で300万人あまりの第一書記と駐村幹部、そして数百万人の基層業務従事者がすべて勇敢に前進し、1800人余りが命を捧げた。コロナ防止・抑制の第一線では、多くの医療従事者が最前線へと赴き、400万人余りのコミュニティスタッフが全国65万の都市・農村コミュニティで日夜を分かたず勤務した。科学技術革新の最先端では、科学研究者が難題を攻略し、「嫦娥」の月探査、「北斗」衛星測位システム、「天問」の火星探査、「天眼」

電波望遠鏡による宇宙探査、「蛟龍」潜水艇による深海探査など、自己革新による中国の新たな成果を展開している。東西南北の各業界にいる2億人余りの技術者が中国の製造業と中国のイノベーションの重要な支柱となり、1億5千万を超える事業者が世界最大規模の就業をもたらし、10億を超える中国のネットユーザーが未曾有のデジタル潮流を推進している。大砂漠に根を張る造林・護林従事者、ローカーボンで豊かになる新農村建設に身を投じる人々、黙々と仕事を続ける考古学者、力の限りと戦うオリンピックアスリート、街をひたすら走り回る宅配便配達員……この10年で、一人ひとりの平凡な英雄が汗をたらし、懸命に努力し、それが結集して新時代の中国のイノベーションと創造の満ち溢れる力となったのである。



この10年で、中国の穀物生産能力は安定して上昇を続け、7年連続して安定的に6500億キロ以上の生産量を達成している。現在、中国人の一人当たりの穀物占有量は483キロに達し、国際的に認められている400キロという穀物安全ラインを超えている。写真は黒龍江省濃江農場で農業機械を使って米の収穫をしている農民。

中国の貧困脱却攻略戦において、300万人余りの第一書記と駐村幹部が、200万人近い郷鎮幹部と数百万の村幹部とともに貧困支援の第一戦で奮闘した。民営企業・社会組織・公民個人は、中国の貧困撲滅の三つの新生部隊であり、企業による一対一の貧困村支援、就業による貧困支援、消費による貧困支援などの行動により、全社会の貧困支援の力を結集した。山東省済寧市微山県馬坡鎮石南村の村民はドローンを使って作物の手入れを行い、その村の集団経営収入を増加させただけでなく、効果的に貧困家庭の貧困脱却を手助けた。





技術労働者たちは中国製品と中国イノベーションを支える重要な力であり、彼らは技術で向上に向上を重ね、職人魂で中国が製造大国から製造強国へと向かうのを支えている。中国の職人たちは使命を堅く守り、最前線に突き進み、古い国有企業に新たな青春の力を奮い起こさせている。写真は国有企業の最前線で生産業務につく共産党員たち。

中国は終始人民至上・生命至上を堅持している。災難の前にし、多くの救援者・逆行者・堅守者が命を懸けて使命をまっとうし、人々を愛する心で一致団結し、堅く崩れることのない鉄壁を築きあげた。新型コロナウイルスの爆発的流行の後、中国各地からやって来た4万人が1分1秒を争い、不眠不休でそれぞれ10日と12日をかけ、武漢市で火神山病院と雷神山病院を建設した。写真は2020年1月24日に撮影された火神山病院の建設現場。

2018年6月4日、武警森林部隊と大興安嶺林業消防隊の隊員が、内蒙古自治区大興安嶺汗馬国家級自然保護区で連日連夜、消火作業にあたった。





2014年3月29日、習近平主席はベルリンオリンピック体育館サッカー場で、ドイツでトレーニングをしている陝西省志丹県中国少年サッカーチームのメンバーを見舞った。これは習近平主席と彭麗媛夫人、そして中国少年サッカーチーム、共同訓練中のヴォルフスブルクサッカークラブ少年チームとの記念写真。

「世界が良くて初めて中国が良くなる。中国が良いと、世界はさらに良くなる」。この10年で、中国の門戸はますます大きく開かれ、世界各国と発展のチャンスをつかちあっている。より短いネガティブリストからより優れたビジネス環境まで、より高い基準の自由貿易区から、より広い分野の自由貿易協定まで、より高い品質の「一帯一路」共同建設から、中国国際輸入博覧会の開催成功まで……開放され包容力のある中国が、世界の経済に強いエネルギーを注いでいる。この10年で、中国は積極的に「時代の問いかけ」に答え、

世界的な問題を解決するために中国のプランと知恵を貢献している。経済グローバル化の健全な発展の牽引から、本当の多国間主義の護衛まで、発展協力の推進から気候変動への対応まで、国連の権威の維持からグローバルガバナンスシステムの変革推進まで……。重大な責務を担うのを恐れない中国は、動揺し変わりゆく世界に安定の力を注ぎ込んでいる。大国から周辺国、さらには発展途上国まで、中国の友人は至るところにいる。西湖のほとりからダボス村まで、ホーム外交から多国間外交の舞台まで、人類運命共同体の構築



2015年9月28日、習近平主席はニューヨーク国連本部で第70回国連総会の一般討論演説に出席し、「手を携えて協力・ウィンウィンの新たなパートナーをつくり、心を一にして、人類運命共同体を築こう」と題する重要演説を発表した。2017年2月10日、「人類運命共同体を構築する」理念が国連社会发展委員会会議で初めて国連決議に書き入れられた。この後、この理念はまた、国連安保理・国連人権理事会・国連総会第1委員会の決議にも書き入れられている。



2016年9月5日、20か国・地域（G20）の首脳が参加する11回目のサミットが閉幕した後、習近平主席は浙江省杭州国際博覧センターで国内外の記者との会見を行った。このサミットは、「革新的で活力があり、連動する包括的な世界経済を構築」に焦点を当てたもので、G20発展史上における重要な一里塚を打ち立てた。



2021年7月6日、習近平総書記は北京で中国共産党・世界政党指導者サミットに出席し、基調演説を行い、「政党は人類進歩を推進する重要な力として、正確な前進方向を見定め、人民の幸福をはかり、人類の進歩をはかる歴史的責任を担わねばならない。中国共産党は各国政党とともに努力し、終始変わらずに世界平和の建設者、グローバル発展の貢献者、国際秩序の擁護者であり続けたい」と強調した。

の理念が中国の夢と世界各国人民の素晴らしい夢を結び付けている。中国・欧州を結ぶ貨物列車が経済の動脈をスムーズにし、アフリカの大砂漠できれいな井戸水を掘り、山岳地帯の子どもが光溢れる教室へと入っていき、島国の農民が豊かになる新たな道を見出す……中国と世界のウィンウィン・共有の物語は心と口により伝えられていく。世界がどのように変化しようとも、新時代の中国は一貫して世界平和の建設者、グローバル発展の貢献者であり、国際秩序の擁護者であり続ける。



2022年2月20日、第24回冬季オリンピック大会の閉会式が北京国家体育場で開催された。国際オリンピック委員会のバッハ会長は、「北京冬季オリンピックの成功は、より団結するという精神に従いさえすれば、実現できないようにみえることもやり遂げることができることを証明するものだ」と語った。写真は閉会式において打ち上げられた中国語と英語の「天下一家・ワンファミリー」という花火文字。



中国・ラオス鉄道は「一帯一路」イニシアチブと、ラオスの「陸鎖国から陸連国への転換」戦略を結びつける象徴的なプロジェクトであり、2021年12月3日に全線が開通し運行が開始され、すべて中国の技術基準と管理基準が採用され建設されている。写真は中国・ラオス友誼トンネル内の両国国境を通過する「瀾滄号」。



リベリア駐留の第五次中国平和維持軍警察・暴動鎮圧部隊が派遣した医療スタッフが、現地の孤児院の子どもや職員のボランティア検診を行っている。

中華人民共和国駐大阪総領事館

〒550-0004 大阪府大阪市西区鞠本町3-9-2
連絡先: 06-6445-9481 (代表)

制作協力: 中国外文局アジア太平洋広報センター
(人民中国雑誌社、中国報道雑誌社)



総領事館
Twitter



総領事
Twitter



総領事館
Facebook



総領事館
YouTube



総領事館
TikTok



総領事館
HP